

令和7年度 第1回釜石市立平田公民館運営審議会開催結果

- 1 日 時 令和7年5月20日（火）午後2時～午後3時05分
- 2 場 所 平田集会所 1階 小会議室
- 3 出席委員 6名
中川崇司委員長、佐々木淳子副委員長
福田博委員、小松美香委員、高澤友子委員、久保修一委員
- 4 欠席委員 1名
佐守直人委員、
- 5 事務局等 4名
まちづくり課：佐藤貴之課長、浦城太郎主任
平田公民館：樋岡悦子館長、高橋秀行係長
- 6 傍聴者 なし
- 7 結 果
 - ・樋岡公民館長から出席委員が定足数を満たしていることを告げ、会議の開会を宣言した。
 - ・佐藤まちづくり課長から審議会の開催にあたっての挨拶の後、公民館長から出席委員及び事務局が紹介された。
 - ・公民館規則第9条第1項に基づき中川委員長が議長を務め、令和7年度釜石市立平田公民館運営方針及び事業計画を議題として、事務局による資料説明の後、出席委員と質疑応答を行い、提案された議題については全て了承された。
 - ・公民館長から閉会を宣言し、審議会を終了した。

○委員の主な発言等

<令和7年度釜石市立平田公民館運営方針及び事業計画について>

[質 問]：事業計画の4.地域や世代を超えた事業の中の、「睡眠」と「健康」の知恵袋講座は、医師が講師をやるのか。

[事務局]：明治安田生命の事業による講師派遣の協力を得て実施したいと思っている。

[意 見]：たくさんの活動をされていると思う。住民の方が自宅で介護するのに困っているとか、介護に関する相談をされたい場合、当方でも介護講座などを対応できるのでお声掛けいただきたい。

[意 見]：いつも思うことですがたくさんの事業を実施されていて、取りまとめされる方々が大変だろうと想像しています。

[意 見]：いつも色々な事業に参加させて頂いている。乳幼児期を中心とした事業では、園でも一緒に色々な活動はできると思う。他事業と抱き合わせて何か一緒にできるのかなと思う。園としては、どんどん地域と一緒にあって、ぜひ色々な事業に参加させて頂いていただければと思っています。

[質 問]：行事がいっぱいあるようだが、行事一つ一つに対して防災訓練みたいなことをやっていなくてよいのかと思っています。

[事務局]：今年度、祥雲支援学校で住民参加型の防災訓練の実施を計画している。また、公民館事業実施の際は、災害が発生した場合の対処法などを参加者に周知する方法を検討

していき、主催者を含め防災に対する意識を高めていきたい。

[意見]：事務局のみなさんには、多種多様な事業をやっていただき本当にご苦労さんだと思っている。私たちも出来るだけ協力したいと思っているので、事務局はなかなか準備が大変だと思うんですけど、まず、今後頑張っていたきたいなと思います。

[意見]：何でもそうだが、企画してもなかなか人が集まらないとか、どうやって人を集めるのか、それを担当する方々が大変だと思いますが頑張っていたきたいと思います。

<その他>

[事務局]：市まちづくり課では今年度『かまいし本のまちプロジェクト』を実施する。実施内容として、市立図書館や移動図書館で借りた本を各地区生活応援センターに返却可能になる。また、各地区生活応援センターに図書コーナーを設置し、本の充実化を図りながらセンター独自で本の貸し出しが可能になるといったことを考えている。生活応援センターの本を充実させる方法の一つとして、各地区住民から本の寄贈を募っていきたい。本の寄贈についてのお願いは、広報かまいし及び各地区応援センターだよりに時期を見て掲載する予定なので、是非皆様のご協力をお願いしたい。『かまいし本のまちプロジェクト』の準備や開始にかかる今後の日程については生活応援センター長会議を経て決定する。また、今年11月開催予定の「海と希望の学園祭」において、かまいし本のまちプロジェクト関係の催しを企画している。